



保護者の「情報」授業体験会

2016年2月27日(土)、電算教室にて「保護者の『情報』授業体験会」を開催しました。当日は37名の保護者が参加し、飯田先生の「情報」の授業を体験しました。

最初に飯田先生から、「パソコンの操作を学ぶだけではなく、コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用を通して、情報を適切に収集・処理・発信するための基礎知識と技術を習得し、情報工学などの知識やプログラミングを学びます。」と、「情報」の授業についての目的や、具体的な内容の説明がありました。

「見えているものは本当にある?」「聞こえているものは何?」

前半は、パソコンの画面上で、盲点や脳の補完のはたらきを利用した目の錯覚や、高周波音の聞こえなど、いろいろな不思議を体験しました。

「インターネットに『匿名』はない」「Six Degrees of Separation (六次の隔たり)」

後半は、最近の情報モラルの話題とアクティブラーニングの実践例について説明がありました。SNSの不適切な使い方がどれだけ危険かということ具体的な例をあげてわかりやすくお話いただく中で、両国高校生徒のSNS利用実態調査の結果について保護者から驚きの声があがる場面もありました。

上記の他にも学校行事の写真の閲覧や、映像制作実習のご説明とともに生徒たちの実際の映像作品を見せていただくなど、密度の高い内容で約1時間の授業体験はあっという間に終了となりました。

参加された保護者の皆さんは、何度も驚きの声や笑い声をあげ、生徒たちの作品に感心し、「情報」の授業についての認識を新たにしていました。

